

1. 南西 2. 南東 3. 北西 4. 北東

1. 寒流の影響により、海面からの水蒸気の供給が完全に遮断されているため。

2. 大陸の東側に巨大な山脈が連なり、湿った偏西風が届かないため。

3. 赤道低圧帯が一年を通して停滞し、乾燥した空気を送り込み続けているため。

4. 亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響を強く受けているため。

1. 建物の屋上や壁面を緑化し、植物の蒸散作用などを利用して気温の上昇を抑える。
2. 道路の舗装をすべて土に戻すことで、二酸化炭素の吸収量を増やし温室効果を抑制する。
3. 都市部の建物の高層化を規制し、海からの風が通り抜ける「風の道」を遮断する。
4. 地下に巨大な貯水槽を建設し、大雨の際に水を貯めることで地表の熱を奪う。

1. 不況時に、日本銀行が一般の銀行に低利で資金を貸し付け、政府の公共事業を拡大させることで雇用を創出する。	2. 好況時に、日本銀行が銀行へ国債を売却して代金を受け取ることで、過剰な資金を回収し物価の上昇を抑える。	3. 不況時に、日本銀行が銀行から国債を買い取って代金を支払うことで、企業への貸し出しを促し景気を回復させる。	4. 好況時に、日本銀行が金利を引き上げることで、家計の貯蓄を増やし将来の消費活動を安定させる。
--	---	---	--

1. 医療保険や介護保険などの社会保険への加入 — 共助 2. 生活習慣病予防のための運動や個人での預貯金 — 自助 3. 個人の将来に備えた民間の生命保険や個人年金の加入 — 公助 4. 生活困窮者に対する生活保護や児童福祉などの社会福祉 — 公助

1. 日本の天皇の使節として交渉し、明の皇帝と対等の立場で国交を結んだ
2. 幕府の役職である「征夷大將軍」の名義で、軍事同盟を前提とした条約を結んだ
3. 特定の宗教勢力が貿易を独占するのを防ぐため、楽市・楽座の制度を適用した
4. 明の皇帝から「日本国王」としての称号を受け、臣下の礼をとる形式で貿易を行った

1. 流通経路を簡素化することで、中間マージンを省き経費を低く抑えるため

2. 生鮮食品の取り扱いを減らし、在庫管理の負担を軽減するため

3. 卸売業者の役割を強化することで、地域経済の流通網を広げるため

4. 特定の生産者との契約により、商品の種類をあえて限定するため

1. 武家諸法度 2. 国家総動員法 3. 治安維持法 4. 徴兵令

1. 東京から見て真右に引いた直線状にある、北アメリカ大陸の方向 2. 東京から見て真右に引いた直線状にある、南アメリカ大陸の方向 3. 東京から見て真上に引いた直線状にある、北極点の方向 4. 東京から見て真左に引いた直線状にある、ヨーロッパの方向

1. 消費者金融 2. 公定歩合 3. 直接金融 4. 間接金融

1. 消費者金融 2. 公定歩合 3. 直接金融 4. 間接金融

1. 第二次世界大戦の終結により海外の拠点を失ったため、多くの軍人や民間人が帰還せざるを得なくなり、食料や物資が不足していた日本本土の混乱に拍車をかけた。

2. 高度経済成長の開始により労働力が不足したため、政府が海外に残っていた日本人を積極的に呼び戻し、重化学工業の発展を支えた。

3. サンフランシスコ平和条約の締結に伴い、近隣諸国との国交が回復したことで、観光やビジネスを目的とした日本人の往来が活発化した。

4. GHQによる民主化政策の一環として、農地改革を成功させるために海外からの帰還者を優先的に農村へ入植させ、農業生産力を大幅に向上させた。

1. ネイティブアメリカン 2. アフリカ系アメリカ人 3. アジアンアメリカン 4. ヒスパニック

答え合わせ・解説

問1	答え 3 北西	正距方位図法は、図の中心からの最短距離（大圏航路）が直線で示される特徴を持つ。東京からアフリカ大陸の西端にあるダカールへ向かう最短ルートは、北極付近を通過するコースになるため、方位は北西となる。メルカトル図法などのイメージから「真西」や「南西」と考えがちだが、地球が球体であることを踏まえた方位の捉え方が重要である。
問2	答え 4 亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響を強く受けているため。	地球規模の空気の循環において、緯度20～30度付近（回帰線付近）には上空から空気が降りてくる「亜熱帯高圧帯」が存在します。高気圧に覆われる場所では上昇気流が起こらず、雲が形成されにくいため、雨がほとんど降りません。これがサハラ砂漠やオーストラリアの内陸に広大な乾燥帯が存在する主な理由です。
問3	答え 1 建物の屋上や壁面を緑化し、植物の蒸散作用などを利用して気温の上昇を抑える。	都市部で気温が上昇するヒートアイランド現象の対策として、屋上緑化や壁面緑化が進められています。植物には水分を水蒸気として放出する蒸散作用があり、その際に周囲の熱を奪う効果（気化熱）があるため、気温の上昇を抑制する役割を果たします。地下貯水槽は主に洪水対策として設置されるものです。
問4	答え 3 不況時に、日本銀行が銀行から国債を買い取って代金を支払うことで、企業への貸し出しを促し景気を回復させる。	買いオペレーションは、景気が停滞している「不況」の際に行われる代表的な金融政策です。日本銀行が国債を買い取ることで銀行に資金が供給されると、銀行は企業などへ積極的に資金を貸し出せるようになります。その結果、世の中の金利が下がって投資や消費が活発になり、景気の回復が図られます。逆の状況である好況時に国債を売る操作は、売りオペレーションと呼ばれます。
問5	答え 3 個人の将来に備えた民間の生命保険や個人年金の加入 — 公助	民間の生命保険や個人年金への加入、個人での預貯金などは、個人自身の選択と負担による備えであるため「自助」に分類されます。「公助」は国や地方自治体などの行政が税金を財源として生活保障を行う社会福祉や公的扶助などの仕組みを指します。
問6	答え 4 明の皇帝から「日本国王」としての称号を受け、臣下の礼をとる形式で貿易を行った	足利義満は、明を中心とした当時の国際秩序（冊封体制）に加わることで、莫大な利益をもたらす貿易の権利を得ようとしていました。そのため、明の皇帝から「日本国王」として認められる形（臣下の礼）をとり、正式な外交関係を樹立しました。これは日本の主権を認めさせつつ、実利をとるという義満の現実的な外交政策によるものです。
問7	答え 1 流通経路を簡素化することで、中間マージンを省き経費を低く抑えるため	生産者からの直接仕入れは、生産者から消費者に届くまでの流通経路を短縮する手法です。これにより、本来卸売業者に支払う手数料などの経費を低く抑えることが可能になります。特に鮮度が求められ、かつ品揃えを重視する大規模店において、コストパフォーマンスを高めるための重要な戦略となっています。
問8	答え 4 徴兵令	明治政府は「富国強兵」のスローガンのもと、近代的な軍隊を創設しようとしていました。そのため、誰がどこに住んでいるかを正確に把握する必要があったため、1872年に日本初の近代的な戸籍（壬申戸籍）を作りました。この情報をもとに、1873年、身分に関わらず一定の年齢に達した男子に軍務を課す法令が定められました。
問9	答え 2 東京から見て真右に引いた直線状にある、南アメリカ大陸の方向	正距方位図法は、中心点からの距離と方位が正しく表される図法です。この図法において、中心である東京から真右に引かれた直線は最短距離（大圏航路）を示しており、方位は東を指します。メルカトル図法などの一般的な世界地図で見慣れている北米大陸は、東京から見ると実際には北東の方位に位置するため、真東に進むと南アメリカ大陸に到達するという、球体としての地球の性質が反映されています。
問10	答え 3 直接金融	企業が金融機関の仲介を経ずに、市場から直接資金を調達する方法を直接金融と言います。これに対し、銀行が預金者から集めた資金を企業に貸し出す仕組みを間接金融と呼びます。直接金融では、企業は株式を発行して出資を募ったり、社債を発行して借金をしたりすることで、広く一般の投資家から資金を確保します。
問11	答え 4 間接金融	資金の出し手と借り手の間に銀行などの金融機関が介在する仕組みを間接金融と呼びます。個人は銀行に預金することで利子を受け取り、銀行はその預金を原資として企業へ貸し出しを行い、企業から利子を受け取ります。これに対し、企業が株式や債券を発行して投資家から直接資金を調達することを直接金融といいます。
問12	答え 1 第二次世界大戦の終結により海外の拠点を失ったため、多くの軍人や民間人が帰還せざるを得なくなり、食料や物資が不足していた日本本土の混乱に拍車をかけた。	終戦直後の日本は、空襲による都市の破壊や極端な食料不足に苦しんでいました。そこへ、旧植民地や占領地から「引き揚げ」と呼ばれる大規模な人口流入が発生したことで、住宅難や食料難などの社会問題がより深刻化しました。この人口移動は、日本の主権が及ぶ範囲が本土周辺に限定されたことを象徴する出来事でもあります。
問13	答え 4 ヒスパニック	メキシコや中央アメリカ、西インド諸島などのラテンアメリカ地域からアメリカ合衆国に移住した、主にスペイン語を話す人々やその子孫はヒスパニックと呼ばれます。近年人口が増加しており、アメリカ合衆国の文化や社会に大きな影響を与えています。